

学校裁量についての実施予定一覧表

【表の見方】

数字が書かれている学科で推薦入学者選抜を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。
 「＊」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。

推薦入学者選抜では、全ての学科で面接が実施されます。実施形態を○で記入しています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。

(例) 数・理・英(1.5)

数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各150点満点となります。

評価方法	割合
学力検査の成績を重視	15%
個人調査書等を重視	15%
個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に見る	70%

定員

			推薦入学者選抜														一般入学者選抜												
			面接		面接以外に実施する項目		個人調査書										学力検査等の実施		複数尺度による選抜で重視する項目										
			個人	集団	英語の聞き取り テスト等	英語による問答	実技	作文	学習の記録	学習の時間	総合的な活動	特別活動	奉仕活動	総合所見等						学力検査の傾斜配点	教科（倍率）	実践		過年度卒	学力検査の成績を重視	個人調査書を重視			
														資格・検定試験等、その他								個人	集団			評定：学力	特別活動の記録	総合所見等	実技等
学区	学校名	学科名																											
普通教育を主とする学科以外の学科については、道内全域です。	学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。	英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。	個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって評価の対象とする項目に○「その他」については具体的な内容を記入してあります。「総合所見等」の評価の観点は、活動歴や大会、資格・検定試験等の結果のみではなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力などとし、それぞれの観点をバランスよく評価することとします。														実施する内容に○を記入しています。『過年度卒』の○は、過年度卒業者のみを対象とした面接の実施を表しています。		学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定の記録」と学力検査の成績との重視の比率を表します。		個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。		個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって参考とする項目を○で記入しています。						

選抜に当たって面接や実技などを重視する場合に、重視する内容を記入してあります。

※なお、スポーツ活動・文化活動には、
学校部活動や地域クラブ活動を含みます。

学区	学校名	学科名	推 薦 入 学 者 選 抜													一 般 入 学 者 選 抜									
			入学枠 (%程度)	面 接		面接以外に実施する項目			個人調査書						学力検査等の実施				複数尺度による選抜で重視する項目						
				個人	集団	英語の聞き取り テスト	英語による問答	実 技	作 文	学習の記録	学習の時間	総合的な 活動	総合所見等				学力検査の 傾斜配点	実 技	面 接		学力検査の 成績を重視	個人調査書等を重視			
													奉仕活動	文化活動	スポーツ活動	資格・検定 試験等			その他	全 員		過年度卒	個人調査書	実技等	
																				個人					集団
檜山	上ノ国	普通	30	○					○	○	○	○	○	○					○				8：2	8：2	

全日制課程の「入学者の受入れに関する方針等」一覧表

推薦枠の「*」は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数に対する推薦枠の割合を意味する。

各高等学校では、スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針）を、**それぞれの学校のウェブページ等**で公表しています。

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
檜山	上ノ国	普通	30%	本校のスクール・ミッションを理解し、次のいずれかに該当する生徒 1 自分たちの住んでいる地域の良いところや、困っていることに関心を持って、「自分から何かやってみよう!」「自分も地域社会の一員なんだ!」という気持ちを育てながら、世代を超えたさまざまな人との「つながり」を大切にして、みんなといっしょに成長しようと思う「架け橋」になる人 2 世界に目を向けて、外国のことや文化に興味を持ち、「人や地域、社会のために何かしたい!」と考え、未知のこと、やったことのないことでも自分から行動を起こし、積極的にチャレンジする人